

金城正信金城産業社長
および平林実平林金属
社長が、各社で行って
いる再資源化の取り組
みや課題などを発表し
た。

続いて、エンビプロ
・ホールディングスの
グループ会社でリチウ
ムイオン電池(LIB)
のリサイクルを手掛け
るVOLT Aの今井健
太社長が、同電池リサ
イクルについて講演。
LIBの負極・正極板
より回収したコバルト
・ニッケルの濃縮滓
(ブラックマス)は、
国内で精錬しているメ
ーカーが無いため、海
外販売しているのが現
状だと述べた。「再資
源化技術の向上のみな
らず、物量の継続的な
確保も課題。電池to電
池リサイクルにチャレ
ンジしているところ
だ」と締めくくった。
各講演後には参加者
より活発な質問が寄せ
られ、関心の高さがあ
うかがえた。

最先端の資源 リサイクル

レアメタル資源再 生技研がセミナー

希少金属のリサイク
ルなどに関する最新技
術や情報などを提供す
るレアメタル資源再生
技術研究会(会長・藤
田豊久東京大学名誉教
授)は18日、「最先端
の資源リサイクルの現
状・将来展望」をテー
マにオンラインセミナ
ーを開催。全5講演を
行った。当日は資源再
生関連の研究者や自治
体、企業の担当者ら1
00人以上が参加し
た。

5講演のうち、小型
家電リサイクルの現状
や将来展望について、

